

解題

広島大学総合科学研究科 鈴木俊哉

広島大学大学院総合科学研究科紀要. II, 環境科学研究, 13 卷(2018)に掲載予定の「四庫全書本『説文解字繫傳』に見える小篆異体字」、および、機関リポジトリで公開している『説文解字繫傳』諸版小篆対比表の補助データとして汪啓淑本の影印を公開する。

1. 資料画像について

本資料は、国立公文書館所蔵の説文解字繫傳汪啓淑本(所蔵機関書誌タイトル『説文解字通釈』、請求番号 経 046-0015、紅葉山文庫旧蔵)の画像を 2 値化およびトリミングしたものである。具体的には、原本を 400dpi でスキャンした 6236×4915 ピクセルの JPEG 画像に対し、25%に縮小した上で、明度 70%を閾値として 2 値化した。汚れや虫損の塗りつぶし、不鮮明な部分に対する加筆修正などはしていない。表紙および裏表紙は全体が映るよう、本文は天地を除くよう表示上のトリミングをしている。トリミングのパラメータは縮小前の原画像サイズに対して

表紙・裏表紙: 上 158、下 192、左 489、右 482 ピクセル

本文: 上 933、下 317、左 489、右 482 ピクセル

である。

本資料には、2 値画像のみの頁と、2 値画像の上に部分的にカラー画像が乗っているように見える頁がある。容量削減のため大半を 2 値画像にしているが、蔵書印や表紙のカラーバーなど 2 値画像では支障が出る部分がある箇所限りカラー画像を追加した。カラー画像は元の JPEG 画像を 25%縮小し、品質 30%で JPEG 再圧縮したものである。

トリミングは PDF のマスククリッピングにより表示上トリミングされているだけであり、PDF の内部にはトリミングされていない画像が格納されている。PDF ビューワからのオブジェクト単位のコピーペースト、あるいは PDF から画像への変換ソフトを用いればトリミングされていない画像を取り出すことが可能である。

2. 附属資料と東北大学所蔵汪啓淑本の違いについて

国立公文書館本(以下、内閣本と呼ぶ)は東北大学所蔵の汪啓淑本(教養 821-99、以下東北大本と呼ぶ)と同版と見られるが、東ヶ崎祐一氏が文献[1]にて既に報告しているように、東北大本には若干の脱葉や入れ替わりがある。

● 冊数

東北大本は 8 冊(1:1-4/2:5-8/3:9-12/4:13-18/5:17-20/6:21-24/7:25-28/8:29-40)

内閣本は 12 冊(1:1-2/2:3-5/3:6-7/4:8-10/5:11-12/6:13-15/7:16-18/8:19-21/9:22-24/10:25-27/11:28-32/12:33-40)

に綴じられている。

- 順序

東北大本は封面に続いてすぐ巻 01 の葉が綴じられているが、内閣本は封面に続いて 1 葉白紙を挟み、その後に附録が 13 葉綴じられ、その後に巻 01 の葉が続く。東北大本では附録は巻 40 の尤袤の跋文の後に綴じられている。以下のようなになる。

東北大本 封面/巻 01/ … /巻 40/子容題/尤袤題/附録/汪啓淑跋

内閣本 封面/附録/巻 01/ … /巻 40/子容題/尤袤題/汪啓淑跋

- 脱葉、乱丁

東北大本は巻 07 葉 15、巻 08 葉 01 を欠く。内閣本はこれを備える。

東北大本は巻 01 葉 14 が巻 07 の後に配されており、巻 08 葉 05 と葉 06 が入れ替わり、巻 27 葉 07 と葉 08 が入れ替わっている。

謝辞

本資料の作成にあたり、科研費課題番号 16K004600A の補助を受けています。また、国立公文書館所蔵の汪啓淑本の影印 PDF のデータ設計および動作確認について、web サイト「稀少地名漢字リスト」主催の塚田氏に様々なご助言・ご助力を頂きました。深く感謝いたします。

参考文献

[1] 東ヶ崎祐一: 『説文解字繫伝』反切校勘記 (1) 一三本異同考・上一、東北大学言語学論集 (17)、 p.111-137 (2008).